

|              |   |
|--------------|---|
| Title        | 「ドラフター利用の手引き」への修正ならびに追加事項   |
| Author(s)    |   |
| Citation     | 大阪大学大型計算機センターニュース. 1973, 10, p. 81-82   |
| Version Type | VoR   |
| URL          | <a href="https://hdl.handle.net/11094/65193">https://hdl.handle.net/11094/65193</a> |
| rights       |   |
| Note         |   |

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 「ドラフター利用の手引」への修正ならびに追加事項

### (I) 利用方法

#### 1.

- 1) Cジョブ特殊許可願の申請は不用となりました。
- 2) CALL RENAME (6, :SPR:) のカードは不用となりました。
2. 計算結果を返却されたとき、プログラミング上の誤りが完全になくなったことならびに作画範囲をこえないことを必ず確認していただきます。しかるのちに、センター計算依頼受付で製図機使用の予約を行ないます。
  - 1) 予約時間の申し込みは30分単位で、1回の使用につき使用時間は原則として90分以内とします。但し使用件数が少ない場合はこの限りではありません。
  - 2) 作画内容の含まれている磁気テープの保存は計算処理日から2週間までとします。
  - 3) 豊中、沖之島地区から電話で予約申し込みをされる場合は、内線2815に連絡して下さい。
  - 4) センター提供の試験用紙の大きさは、1.2m×1.0m 清書用紙は1.1m×0.75m ありますが、利用者持参の用紙でも結構です
  - 5) 遠隔地利用者は、計算依頼Bカードにドラフター使用と明記して下さい。作図はセンターが行ない、郵送にして返却いたします。
  - 6) 使用可能なペンは原則として、ボールペン黒、赤、青(0.4mm)とします。

### (II) 操作上の注意事項

- 1) カーソル移動用キー、マシン・ゼロ・キーは必要でないかぎり押さないようにして下さい。
- 2) 作画中は現場を離れないようにして下さい。
- 3) ボールペン・ペンの使用に際しては、自動製図室掲示板上の注意事項をよく読んで下さい。

### (III) サブルーチンの追加

#### 1. ドラフターサブルーチンの追加

1) NOSEQ(N); ここにNは2ケタまでの自然数。利用方法は、

(イ) CALL DAPSTR (-1, 100)

CALL NOSEQ (1)

SUB PROGRAM1 ..... 1 図

CALL NOSEQ (2)

SUB PROGRAM2 ..... 2 図

CALL NOSEQ (3)

SUB PROGRAM 3..... 3 図

CALL DAPEND

STOP

END

(ロ) CALL DAPSTR (-1, 200)

CALL NOSEQ (1)

A 図の途中まで

CALL NOSEQ (2)

A 図の途中から

CALL DAPEND

STOP

END

操作方法はまずはじめに DAPSTR の SEQUENCE NUMBER をサーチし、次に NOSEQ の N をサーチして実行すればよい。N 図のみを作図したい場合は OPTIONAL スイッチを ON にしておけばよい。なお、特に (ロ) の使い方をされる方はマシンゼロスイッチでペンを原点にもどし、用紙を前回と同じ位置にセットして下さい。

◎APEN (K, IT)

タレット選択を行います。

$K = i$  タレット  $i$  を選択 ( $i = 1, 2, \dots, 6$ )

$IT > 0$  は三角形を描きます。

$IT \leq 0$  は三角形を描きません。

(IV) プログラミング, 作画例

理学部高分子化学教室田中章氏から 100 ステップ程度のプログラムと作画例, ならびに簡単な解説を寄せていただいたので, 感謝いたします。「モンテカルロ法による高分子鎖の作図」の項をごらん下さい。